

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年9月3日
【事業年度】	第45期(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)
【会社名】	株式会社シーボン
【英訳名】	C'BON COSMETICS Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 金子 靖代
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木七丁目18番12号 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の本店業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。)
【電話番号】	(044)979-1234(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部担当 諏佐 貴紀
【最寄りの連絡場所】	神奈川県川崎市宮前区菅生一丁目20番8号 (シーボンパピリオン<メインオフィス>)
【電話番号】	(044)979-1234(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部担当 諏佐 貴紀
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成22年6月29日に提出いたしました第45期（自平成21年4月1日至平成22年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイル含む）を提出いたします。

## 2【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 財務諸表等

(1) 財務諸表

損益計算書

売上原価明細書

注記事項

（退職給付関係）

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

1【財務諸表等】

(1)【財務諸表】

【損益計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	14,305,158	14,936,149
売上原価	2,627,842	2,812,217
売上総利益	11,677,315	12,123,931
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	726,465	720,223
販売手数料	381,839	414,354
交際費	105,452	88,051
役員報酬	233,825	252,352
従業員給料	4,222,689	4,499,800
従業員賞与	534,181	593,001
役員賞与引当金繰入額	17,550	17,650
賞与引当金繰入額	19,417	29,636
法定福利費	617,020	640,050

(後略)

(訂正後)

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	当事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	14,305,158	14,936,149
売上原価	2,627,842	2,812,217
売上総利益	11,677,315	12,123,931
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	726,465	720,223
販売手数料	381,839	414,354
交際費	105,452	88,051
役員報酬	233,825	252,352
従業員給料	4,222,689	4,499,800
従業員賞与	534,181	593,001
役員賞与引当金繰入額	17,550	17,650
賞与引当金繰入額	19,417	29,636
退職給付費用	176,217	183,422
法定福利費	440,803	456,627

(後略)

【売上原価明細書】

(訂正前)

区分	注記 番号	前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)		当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(前略)					
サービス売上原価					
1. 従業員給料		607,619		666,982	
2. 従業員賞与		49,566		55,387	
<u>3. 法定福利費</u>		<u>103,959</u>		<u>111,971</u>	
(後略)					

(訂正後)

区分	注記 番号	前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)		当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(前略)					
サービス売上原価					
1. 従業員給料		607,619		666,982	
2. 従業員賞与		49,566		55,387	
<u>3. 退職給付費用</u>		<u>29,690</u>		<u>32,088</u>	
<u>4. 法定福利費</u>		<u>74,269</u>		<u>79,883</u>	
(後略)					

【注記事項】

(訂正前)

(デリバティブ取引関係)

(省略)

(訂正後)

(デリバティブ取引関係)

(省略)

(退職給付関係)

前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	当事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)																				
<p>1. 採用している退職給付制度の概要</p> <p>当社は、東京化粧品厚生年金基金に加入しておりますが、当該厚生年金基金制度は退職給付会計に関する実務指針第33項の例外処理を行う制度であります。</p> <p>なお、この制度に関する事項は次のとおりであります。</p> <p>(1) 制度全体の積立状況に関する事項(平成20年3月31日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">年金資産の額</td> <td style="text-align: right;">44,138,030千円</td> </tr> <tr> <td>年金財政計算上の給付債務の額</td> <td style="text-align: right;">54,341,649千円</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td style="text-align: right;">10,203,618千円</td> </tr> </table> <p>(2) 制度全体に占める当社の掛金拠出割合(平成20年3月31日現在)</p> <p style="text-align: right;">7.163%</p> <p>(3) 補足説明</p> <p>上記(1)の差引額の要因は、年金財政計算上の未償却過去勤務債務残高7,588,555千円及び剰余金2,615,063千円であります。本制度における過去勤務債務の償却方法は期間20年の元利均等償却であり、残存償却年数は17年であります。</p> <p>なお、上記(2)の割合は当社の実際の負担割合とは一致しません。</p> <p>2. 退職給付費用に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">215,073千円</td> </tr> <tr> <td>厚生年金基金掛金</td> <td style="text-align: right;">215,073千円</td> </tr> </table>	年金資産の額	44,138,030千円	年金財政計算上の給付債務の額	54,341,649千円	差引額	10,203,618千円	退職給付費用	215,073千円	厚生年金基金掛金	215,073千円	<p>1. 採用している退職給付制度の概要</p> <p style="text-align: center;">同左</p> <p>(1) 制度全体の積立状況に関する事項(平成21年3月31日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">年金資産の額</td> <td style="text-align: right;">37,100,382千円</td> </tr> <tr> <td>年金財政計算上の給付債務の額</td> <td style="text-align: right;">55,048,269千円</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td style="text-align: right;">17,947,886千円</td> </tr> </table> <p>(2) 制度全体に占める当社の掛金拠出割合(平成21年3月31日現在)</p> <p style="text-align: right;">8.056%</p> <p>(3) 補足説明</p> <p>上記(1)の差引額の要因は、年金財政計算上の未償却過去勤務債務残高6,676,880千円及び剰余金11,271,006千円であります。本制度における過去勤務債務の償却方法は期間20年の元利均等償却であり、残存償却年数は16年であります。</p> <p>なお、上記(2)の割合は当社の実際の負担割合とは一致しません。</p> <p>2. 退職給付費用に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">225,348千円</td> </tr> <tr> <td>厚生年金基金掛金</td> <td style="text-align: right;">225,348千円</td> </tr> </table>	年金資産の額	37,100,382千円	年金財政計算上の給付債務の額	55,048,269千円	差引額	17,947,886千円	退職給付費用	225,348千円	厚生年金基金掛金	225,348千円
年金資産の額	44,138,030千円																				
年金財政計算上の給付債務の額	54,341,649千円																				
差引額	10,203,618千円																				
退職給付費用	215,073千円																				
厚生年金基金掛金	215,073千円																				
年金資産の額	37,100,382千円																				
年金財政計算上の給付債務の額	55,048,269千円																				
差引額	17,947,886千円																				
退職給付費用	225,348千円																				
厚生年金基金掛金	225,348千円																				